創業明治四十四年。
観音山®
フルーツガーデン

レモン みかん ライム の樹を育てよう！

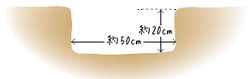
栽培マニュアル 保存版

当農園でも使用する「農家の苗木」ですので、幹がしっかりしていて、葉も厚みがあります。一家に一本あると、重宝いたします。
ご家庭で、無農薬で栽培した柑橘果樹を存分にお楽しみ下さい。
栽培のサポートもしっかりさせて頂きますので、ご不明な点や困ったことなどありましたらメールなどでご連絡下さいネ。

庭植えの方法

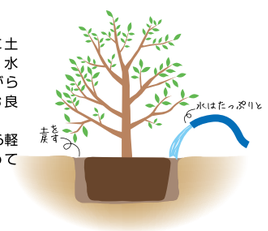
大きな樹に成長させるためには、地面に直に植えていただく必要があります。
鉢植えのままの栽培は、樹がお届け時から大きく成長いたしません、予めご了承下さい。

1
地面に穴を掘ります。
穴の大きさは鉢がすっぽり入る大きさ（幅約50cm、深さ約20cm）。

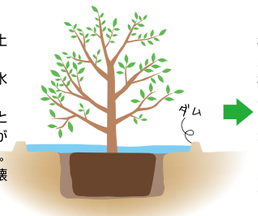


2
樹を株元を持って鉢から抜き、根元についた土も一緒に穴に入れます。

3
穴の隙間に土を戻します。水を入れながらするとなお良いです。
土を戻したら軽く踏み固めて下さい。



4
掘り出して余った土で、土の壁（ダム）を作ります。
ダムを作ったらたっぷり水を入れましょう。ダムに水を入れることで、じっくりと水が地中に染み込み、根が地面に張りやすくなります。
水がなくなったら、ダムを壊します。



5
樹を安定させるために添え木を立てます。支柱を根元から垂直に打ち込みます。支柱が安定したら株元と上の方の2カ所を緩めに縛ります。

これで植え替えが完了です。

6ヶ月間の枯れ補償付

ご購入から6ヶ月間のうちに枯れてしまった場合は、**補償で代替のツリーを再度お届け致します。**

※ただし、枯れの原因がお客様にある場合は補償対象とはなりません。ご了承下さいます。
例:潅水不足、強風が吹く場所に置いていた、防寒対策をしていない など

Q&A 集めてみました

Q 7月末、レモンの木を買いました。今日（8月3日に）水をやると土の中からハエが何匹も出てきました。買ってから届いた鉢植えのままですが大丈夫でしょうか?水のやり過ぎでしょうか?

A レモンツリーからハエが出るとのことですが、7月末にお届けしたツリーでしたら、発送2週間ほど前に有機肥料を散布していますので、今、分解最中だと思います。それゆえ有機の成分を食べ虫が発生している可能性が大です。
毎日潅水していただきますと土壌中の表面にも水分がたっぷりあり、肥料の分解も早いと思われますので、10日もすればすべての有機成分が分解して、虫がいなくなると考えられます。

Q 毎日ツリーに水やりをしています。7月に入り摘果を行いましたがまだ9個ほど実がついております。
栄養などの関係からもう少し摘果したほうがいいのは理解しているつもりですが実が可愛くてなかなか実施できていません。理想は2個～3個までにしたほうがいいですよね?各枝に1つずつ残そうと考えました。しかし考えている間にもう7月末になってしまいました。どの辺りを摘果したほうがいいと思われますか?

A 木全体の葉の数が少ないので、3個以上成らせると今後果実に栄養分を取られ、木が衰弱すると予想されます。これだけ摘果すると、今後、夏芽や秋芽の発生が見られると思います。
また、木の枝が直立になるほど樹勢が強くなる傾向がありますので、3本の枝を垂直に近い形に誘導していただくと樹勢が回復すると思われます。

Q 届いたツリーの梱包を開けてみますと、なんだか葉っぱの色が悪く、元気がないようです。杉樽鉢の土の中からハサミムシがたくさん出てきまして、その日の内に植え替えさせていただきました。また、杉樽の鉢の裏はナメクジでいっぱいでした。これは、普通の状態なのですか?
一晩経って、木の様子を見てるのですが、この木は病気なのでしょうか?

A 葉の色については、当園地では日光のよく当たる場所で育成していますので、緑の色が退色傾向ですし、季節で多少の変化がありますので、特に落葉したりする性質のものではありません。
当農園にある兄妹苗も現在は同様な傾向です。一日の日照時間の短い日陰に置いていただくと葉の緑色が濃くなります。あと一か月以内には元気な秋芽が発生してくるはずです。日照時間の短くなんる初冬までには葉の色が濃くなるはずです。
また、虫類につきましては、オール有機質肥料を使用していて、お送りする1ヶ月以内に施肥していますので、肥料の分解中で虫が発生し、こちらでの育成中に、鉢の中に留まっていたものがヤマトさんの発送中における振動にびっくりし、鉢外に出たものと思われます。
さらに、梅雨の季節は湿度も高く、肥料もよく分解する時期で、虫達には特に環境のよい時期ですので、存在する個体数が1年中でも一番多い時期です。

Q ナメクジを退治したのですが、ナメクジは木を枯らす影響はないですか?

A ナメクジによる被害と言えば、幼果をかじり、外観を少し悪くする程度です。
しかし、土が湿り、肥料など有機物があると土壌中の方が環境がよいので木に登ってきません。 そんなにお気遣いは必要ないと思います。

Q 葉の上の方が数枚、くるっと丸まって前回の葉が枯れ落ちる現象に似ているのですが、これは大丈夫でしょうか?

A 時期はずれに出た新葉の場合、アブラムシやハモグリガ付くと葉が奇形になったりしますが 昨年だけの影響で今年は関係ありません。

Q 枯れてきているような感じです。届いた時は、花のつぼみもいっぱいついていたのですが、今は、つぼみごと落ちていってます。ほとんど花がなくなってしまいました。土は湿ってます。何が原因でしょうか?

A 蕾や花は咲いたもので7月下旬まではほとんどは落果して、果実となるものは、ほんの数パーセントです。

Q 鉢植から地植えに植え替える場合、最適な時期はいつですか?

A 基本的にカンキツ類を植える時期で最も適しているのは、3月です。
春先に植えることにより、春を迎えると根が伸長し、地面に活着しやすくなります。そのため、ぜひ植え替えを行う場合は、3月に行ってあげてください。良い時期の順番としましては、春→秋→夏→冬です。
12月などに植え替えを行うと枯れてしまう可能性が高いので、ぜひ春先までお待ち下さい。

Q 一緒に入っていた肥料が無くなったので、どんな肥料をあげれば良いでしょうか?

A 当園ではオリジナル肥料を作っており、それを初回に同封させて頂いておりますが、基本的にはホームセンターで販売されている「果樹用の肥料」や「カンキツ類用の肥料」で問題ございません。3、6、9月と年に3回散布してあげて下さいませ。

Q 葉っぱが元気ないのですが、どうすればいいですか?

A 葉っぱの元気がない場合、様々な症状が考えられますので、一番良いのはお写真を送って頂くことです。症状を拝見させて頂けましたら、それに応じたアドバイスが可能ですので、まずはお写真をメールで送って下さいませ。それに基づいて、こちらからアドバイスさせて頂きます。

Q どれくらいの大きさまで成長しますか?

A 地植えの場合は、順調に育てば高さ、横幅共に4、5mまで成長します。
ただ、鉢植の場合には、根域が限られていますので、2m×2m程度くらいが限界です。大きく育てられたい場合は、地植えで育ててあげて下さい。

Q ずっと鉢植のままでも大丈夫ですか?

A ずっと鉢植でも大丈夫ですが、上記のQAのとおり木はあまり大きくなりません。あまり多くの実を収穫されなくても大丈夫でしたら、1年3～5玉程度が限界だと思いますが、ずっと鉢植のまま育てて頂いても問題ございません。

Q 何個くらいレモンが収穫出来ますか?

A みかん、レモン、ライムの場合は、基本的に元気な葉30枚につき、果実1個と言われています。そのためこれ以上の実を付けますと葉が落ち、樹が弱ります。そのため葉と果実の数のバランスを確認して頂き、栽培をお願いします。

基本的にお問い合わせの際は、お写真をメールで送って頂けますと、より的確なアドバイスが可能になります。デジカメやスマホなどで写真を撮って頂き、メールアドレス（info@kannonyama.net）まで送っていただけますと、お返事させて頂きます。
その際には、こちらで履歴をお調べいたしますので、メールの内容にお名前とお電話番号も一緒にお書き添え願います。

- 杉樽の鉢植えのままお届けいたしますが、大きな樹に成長させるには、地面に植えていただく必要があります。
  鉢植えのままの栽培では、樹がお届け時の大きさから成長しませんので予めご了承下さい。
- ご家庭の庭に、移植して栽培すればきっと立派な樹に育つことでしょう。
- 一年分の肥料と栽培方法の説明書添付さえていただきます。